

「時代は大きく流れを変えている」

神 示

「教え」を学び

社会の姿 向かう方向を 正しくつかむ信者であれ

社会に生きる人は 何を信じ 心の支えにしているのか

その時 その場の考え 思いに共感し

真理なき知識を頼って 自ら悩み 迷う

人が求める自由 平等も

「真理」が悟れて 生かされる思想と気付くべし

人生の支え 「真理」が見えない今

神の手の中 時代の力が動いている

変化に心のみ込まれ 悔いる思いを

「心の道」に残すことがないように

神は使者を通して

「真実」の姿と あるべき「真理」を世に示す

信者は 「心の道」「心の基」に表される

神示「真理」を家族で学び

家庭の姿に「生かす」努力が必要

この思いを強く持つほど

信者の心は安定し 迷いは消えてゆく

社会のあるべき真実は

運命が重なり 補い合って 回る姿にある

自然は 人々に寄り添い

住みやすい環境 豊かな恵み 潤いを与えるもの

人が造る社会は

自然環境に調和して

いよいよ成果を生むと気付くべし

時代は、大きく流れを変えています。この流れにのまれないように、神示を通して教えを学び、社会がどの方向に向かつて変化しているのかを的確につかむことが大切です。それができないと、今の社会にあふれる知識、情報に気持ち振り乱され、迷ってしまうからです。

神の教えを知らない人々は、何を頼りに生きているのでしょうか。目にし、耳にする知識に心を奪われ、思いを乱し、流れにのまがちです。しかし、社会にあふれる知識は、真理、道理にかなうものは少なく、悩み、迷いを生み出します。

自由、平等と訴えても、正しい考え方がつかめず、道を欠く人がたくさんいます。自由とあって、何をしてもよいわけではありません。人は、他者のために自身の運命の力を、思いのままに使うことができます。それが、正しい自由です。

体力、体形など、誰もが同一であることが平等ではなく、等しく世に役立つ運命を与えられている事実こそ、平等です。そのように認識がずれるから、言

葉の上だけ、むなしく主張するのです。

人生を支える物事の道理、真理がつかめない現代にあつて、時代の運命の力が働き、社会のあるべき方向へ導こうとしています。そうした現実を知り、人生に悔いを残すことがないように、神は使者を通して、社会に起きている真実と、本来あるべき正しい生き方を世に示されています。

必要なのは、神のご指導、神示を家族で学び、家庭生活に生かす努力です。その信念を強く持つほど、心の動きが安定し、迷いは消えていきます。

神が造られたこの世の中は、互いの運命の力が重なり合い、補い合って、円満に回るようにできています。それが、社会のあるべき姿、仕組みです。

それは、まさに自然界と同じです。自然は、互いに恵み合っています。人間にも、豊かな恵みを与えてくれます。人の社会も、まずは自分が考え方、生き方を修正し、全てと調和してこそ成果があると、認識しなくてはいけないのです。